



# 琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	琉大グローバルシティズン・カリキュラム：学士課程教育の質保証の中核を担うものとして
Author(s)	浜崎, 盛康
Citation	琉球大学大学教育センター報 = University Education Center Bulletin(14): 1-1
Issue Date	2011-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/41427">http://hdl.handle.net/20.500.12000/41427</a>
Rights	

## 琉大グローバルシティズン・カリキュラム

— 学士課程教育の質保証の中核を担うものとして —

浜崎盛康（大学教育センター長）

第2期中期目標・中期計画（平成22年4月1日～平成28年3月31日）が、本学も平成22年4月からスタートした。その中期計画は次の様に始まっている。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

（1）教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

・（略）

・ 学士力を保証するため、学位の分野に応じた体系的なカリキュラムや教育プログラムを琉大グローバルシティズン・カリキュラムとして実施する。

この「琉大グローバルシティズン・カリキュラム」(University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum=URGCC)は全学的な教育改革の取組であり、いわば琉球大学版の学士力養成のためのカリキュラムである。URGCCは、第2期の中期計画において琉球大学が教育面において達成すべき最も重要な事項の1つである。平成22年度の年度計画においても、「琉大グローバルシティズン・カリキュラムに係る教育課程編成の基本方針を決定する」となっており、平成23年3月にこの「URGCC基本方針」が決定されている。

「URGCC基本方針」からその要点をま

とめてみると、次のように言えるだろう。

「琉大グローバルシティズン・カリキュラム」は本学の「学士課程教育の質の保証」の中核を担うことになるものであり、琉球大学で学んだ学士として相応しいより一層の知識や能力を身につけさせるためのものである。具体的なURGCC学習教育目標は次の7つである。「自律性」、「社会性」、「地域・国際性」、「コミュニケーション・スキル」、「情報リテラシー」、「問題解決力」、「専門性」。これらの学習教育目標を達成するために、「学士教育プログラム」を単位として、アドミッションポリシー(入学受け入れの方針)、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)、ディプロマポリシー(学位授与の方針)を体系的に整備し、学習教育目標をシラバスに明記し、4(6)年一貫教育を実現することが謳われ、FDの推進の重要性が改めて確認されている。

このURGCCをめぐる、URGCCを専属で推進・支援する組織が是非必要であるとの認識のもと、「URGCC推進支援室」も平成22年10月に設置され活発に活動している(平成22年度のURGCC推進支援室の活動については、「平成22年度URGCC推進支援室活動報告書」参照)。

「琉大グローバルシティズン・カリキュラム」(University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum)の着実な実施が求められている。